

【福岡県】 校務DX計画

1 福岡県のこれまでの取組

(1) 統合型校務支援システムの全県立学校への導入

生徒の基本情報、出欠情報、成績情報及び健康情報等のデータを一元管理し蓄積できる統合型校務支援システムについて、令和元年度から導入を開始し、令和5年度に全県立学校への導入を完了した。

(2) ICT支援員の配置

教職員のICT活用を推進するとともに、情報活用指導力を向上させる目的として、令和3年度から全県立学校にICT支援員を配置した。

(3) デジタル採点システムを導入

採点作業の効率化、授業改善、生徒の振り返りの充実を目的として、解答用紙をスキャナで読み込み、パソコン上で採点、集計及び分析ができるシステムを、令和5年度に全県立学校（特別支援学校を除く。）に導入した。

(4) 長期欠席等生徒へのオンライン学習環境の提供

不登校や病気等で長期にわたり欠席している生徒に対して、令和5年度からLTE対応端末及びSIMカードの貸与を開始した。

(5) ICT活用事例集の作成

ICTを効果的に活用している授業例を情報収集し、事例集としてまとめ、全教職員がいつでも参照できるようポータルサイトに掲載した。

2 校務DX化チェックリストを踏まえた課題と今後の取組

(1) 好事例の紹介

引き続き、ICTとりわけクラウドツールを活用した好事例等を情報収集し、全教職員に共有することを通じて、ICTの効果的・効率的な活用を推進していく。

(2) ICT活用に係る研修

引き続き、ICT、特にクラウドツールを活用した好事例等を収集し、全教職員に共有することで、ICTの効果的・効率的な活用を推進していく。

(3) 次世代校務DXに向けての今後の取組

文部科学省が取りまとめた「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」にて示された次世代の校務DXの方向性や、チェックリストの自己点検結果を踏まえ、クラウドツールの積極的な活用や次世代の校務支援システムの導入により、情報共有のデジタル化や、校務のペーパーレス化等を通じた校務の効率化を図るための方策について検討を行う。